



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 7年 9月 17日

第 11 号

全国学力・学習状況調査の結果について 2

【算 数】

	本校	生駒市	奈良	全国
算 数	68	64	58	58

算数は全体として全国平均や奈良県の平均と比べて高く、領域別、観点別、出題形式別で見てもすべて全国平均を上回りました。全国的に、課題とされる「思考・判断・表現」の観点や記述式の問題については、本校においても、正答率はかなり低くなりました。国語同様、根拠を明確にして書くことは、まだまだ苦手なようです。

【目的に応じて適切なグラフの選択は○ 適切な情報を取り出し根拠を記述が苦手】



中でも、野菜の出荷量の増減を判断し、その理由を書く問題では、極端に正答率が下がり全国平均を下回りました（鹿 27.1, 全 31.0）。

出荷量が増えたかどうかを判断するため、`出荷量の割合を表すグラフと出荷量を表すグラフから適切な方を選択し、増減について判断すること、は、概ねできています（8割弱）。また、どちらのグラフに着目したかを書くこともできています。ところが、そのグラフの中から適切な情報

を取り出して根拠を記述することができていないために、不正解となった割合が5割を超えていました（問題別解答類型による）。国語の結果（第10号）でふれましたが、奇しくも「グラフから適切な情報を取り出して記述することが苦手」なのかもしれないことを示唆する結果となりました。

【どのように考えたかについて説明する活動が大切 本校はその割合が高くなった】

「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」（文部科学省・国立教育政策研究所7月31日）によると、児童質問調査「算数の授業で、どのように考えたかについて説明する活動をよく行う」に対して否定的に回答したグループの方が、記述式の正答率が低い傾向にあります。

本校では否定的な回答をした割合は比較的低くなりました。説明する活動をよく行うと肯定的に回答した割合が69.3%で、全国



(65.5)、奈良県(58.7)と比べ高い傾向にあります。本校では「児童同士の意見交流と考えを深める授業づくり」を学校教育目標の重点課題に掲げ、この数年取り組んでいます。こうした取組が少しでもこの結果に反映されているのだとするとうれしいかぎりです。

しかし、否定的回答をした子どもたちが3割いることを見逃すわけにはいきません。昨年度の学校評価児童アンケートでは、「自己探求と意見交流によって考えが深まった」(91%)と回答しつつ、「考えたことを人に伝えることがうまくできなかった」と回答(21%)したり、「自分の考えを書いたり説明したりするのが(あまり)好きでない」(28%)とっていたりする児童が少なからずいます。このように感じている子どもたちを、少しでも、肯定的回答に転じられるよう、引き続き知恵を出し合い取り組んでいきたいと思ひます。

〔数の多様なとらえ方と算数の用語や表現を繰り返し活用した表現活動が大切〕



記述や表現以外で気になった問題がありました。数直線上に示された数を分数で書く問題です。短答式で「知識・技能」に分類されます。注目したのは、全体としての正答率の低さと無解答率の高さでした。全国的な傾向として、異分母分数の加法の計算(通分)はできているが、1の目もりに着目し、分数を単位分数のいくつ分としてとらえることについては課題があるとされています(「全国学力・学習状況調査結果の概要」)。

〔計算方法や手順だけでなく大切なこと〕

この分数の問題は、既習事項を使って計算方法を説明していく問題でした。まず、 $0.4+0.3$ の計算について、0.1をもとにすると「0.1が4個と3個、ととらえられ、整数のたし算を使って計算できることを解説(穴埋め問題)しています。そのうえで、同分母どうしのたし算や異分母どうしのたし算のやり方を記述式で説明させていく出題の仕方でした。こうした説明の流れは、当該学年の教科書でも展開されているものです。



小数や分数などの計算の学習では、計算方法や手順を習得することはもちろん大切ですが、その過程で「なぜそのやり方ができるのか」、「これまでの方法や考え方をを使ってできないだろうか」と考えることを重視しています。「0.1をもとにすると…」「3分の1をもとにすると…」という数についてのとらえ方、見方を大切に、既習事項を活用して解決していく学習を通して、数学的な見方や考え方、論理的思考が育っていくといわれています。

+ - × ÷ + - × ÷ + - × ÷ + - × ÷

すこやか委員会 9月9日

すこやか委員会は、「学校保健と食育の計画と運営を適切にし、児童の健康・安全の増進をはかることを目的」（規約第2条）とし、年1回開催。校医先生にも出席してお話ししていただいています。有山先生（内科）からは、子どもに増えている近視について、大人になってからの病気（緑内障、白内障など）につながることもあるため、生活習慣の見直しや自然光を浴びるなど予防が大切だとお話しくれました。また、中辻先生（薬剤師）からは、インフルエンザの流行が早まっており手洗い、うがい、換気が重要とのお話でした。



後半では、「今日から始める、もしも…の時に自分を守る災害対策（パパママ編）」（生駒市経営企画部危機管理課）と題してご講演いただきました。南海トラフ巨大地震では、被災地域が広範囲と



なり、奈良県への支援が遅れる可能性があり、少なくとも1週間分の備蓄が必要と言われドキリとしました。また、防災には女性からの視点が欠かせない、小さなお子さんがあるご家庭では、「どこに、何を持って、どう逃げるのか」をイメージし、家族でしっかり話し合っておくことが大切とのお話は強く心に残りました。

授業風景



2年生はリットルますやデシリットルますを使って、牛乳パックやペットボトルに水を汲みいれて数を数えていました。予想を立てて容量が何デシリットルなのかを調べる学習です。うまく注げず教室の床は結構びしょびしょに。それでも、雑巾でふき取ることも子どもたちには楽しいハプニングのようでした。

性と生を考える会 田崎さんをお招きして、6年生2時間、3年生1時間、「性の多様性から考える自分らしさ」についての出前授業です。「違うことは当たり前、一緒もいいね」「自分とみんなのありのままを大切に」そんなメッセージが伝わってきました。子どもたちからもたくさん質問が出ました。



体育館への渡り廊下横で育てている河内木綿の花が咲きました。



5年生が育てている稲。田植えが遅かったので、9月に花が咲きました。

